

⑤地域資源創成学部（平成29年度志願倍率 3.8倍）

学科	日程及び 募集人員	教科	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等								
			科目名等		教科等	科目名等	試験の 区分	国語	地歴 公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	配点 合計
地域 資源 創成 学部	前期 2月25日 55人	国	国語 (数Ⅰ、数Ⅱ・数Aから1)と (数Ⅱ、数Ⅲ・数B、簿 情報から1)の2		外	Ⅰ・Ⅱ・英Ⅰ・英Ⅱ	外 試験	200	200	200	100	200			900
			世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1又は2 現社、倫、政経、「倫・政経」 } から3 物、化、生、地学（物基、化基、生基、地基から2）から1又は2 } (注☆)			その他		小論文					200	100	300
	後期 3月12日 20人	外	英(Ⅰ・Ⅱを含む)、独、仏、中、韓から1 (5教科7科目・5教科8科目・6教科7科目・6教科8科目)		その他	面接	外 試験	200	200	200	100	200			900
						その他		小論文					100	200	300
						計	200	200	200	400	100	200	1200		

(注☆) 次の①②③④よりいずれかを選択。

- ①地歴・公民から2科目と理科の基礎を付した科目2科目、②地歴・公民から2科目と理科の基礎を付していない科目1科目、
- ③地歴・公民から1科目と理科の基礎を付した2科目と基礎を付していない科目1科目（同一名称科目（物基と物、化基と化、生基と生、地基と地学）の選択は不可）、④地歴・公民から1科目と理科の基礎を付していない科目2科目

【注】下記の注意事項を必ずお読みください。

注意事項（地域資源創成学部）

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

- 1) 地歴・公民、及び理科の基礎を付していない科目を2科目受験する場合は、解答順に「第1解答科目」及び「第2解答科目」として取り扱いします。
- 2) 地歴・公民、理科の受験科目において、指定科目数を超過して受験しているときは、次のとおり成績を採用します。

受験科目数	理科		得点の採用方法
	理科①	理科②	
2	2	1	『地歴・公民の第1解答科目』と 『「地歴・公民の第2解答科目」、 「理科①」の2科目、 「理科②」の1科目』のうち高得点の2つの成績 ※ただし、理科①及び理科②において同一名称を含む出題科目を同時に採用することはできない。
	-	2	『地歴・公民の第1解答科目』と『理科②の第1解答科目』と 『「地歴・公民の第2解答科目」、 「理科②」の第2解答科目』のうち高得点の1科目]

※理科①は基礎を付した科目、理科②は基礎を付していない科目

- 3) 「外国語」において『英語』は、筆記試験、リスニングテストの両方を必ず受験してください（大学入試センターからリスニングテストを免除された者を除く）。筆記試験のみ受験した者（免除者を除く）及びリスニングテストのみ受験した者は英語を受験しなかった者として取り扱いします。
大学入試センター試験の外国語において英語（250点満点）とその他の外国語（200点満点）で配点が異なっているため、英語を選択した場合は、筆記試験（200点）とリスニングテスト（50点）の合計得点250点満点を200点満点に圧縮後、学科の配点に換算します。リスニングテストを免除された者は筆記試験（200点）を学科の配点に換算します。
- 4) 大学入試センター試験の成績は、平成30年度のものに限り利用します。

【個別学力検査等】欄

- 1) 前期日程において、英語の資格・検定試験の一定以上のスコア（級）を取得している場合、個別学力検査における英語の得点として、満点を上限に加点します。詳細については29ページを参照してください。